マーケットデイリー
SMAM
（No.2,295）
〈マーケットレポートNo.4,462〉
2015年10月16日 情報提供資料
資産形成なら SMAM

今日のトピック 最近の指標から見るブラジル経済（2015年10月）

物価の落ち着きを通じた景気の持ち直しに期待

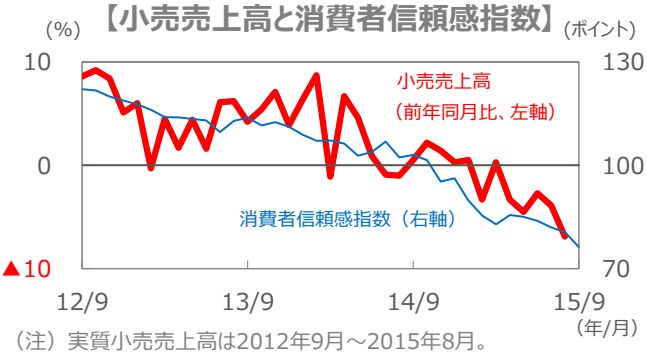
ポイント1 消費が一段と低迷

生産、輸出も低迷

■8月の小売売上高は、物価の影響を除いた実質で前年同月比▲6.9%と、マイナス幅の拡大が続きました。消費者信頼感指数は9月も低下しており、物価高や金融引き締めが消費者心理に影響していると見られます。

■8月の鉱工業生産指数は同▲9.0%、9月の輸出は同▲17.7%とマイナスが続きました。内需と外需がともに弱く、景気は全般に低迷しています。

【小売売上高と消費者信頼感指数】



（注）実質小売売上高は2012年9月～2015年8月。
消費者信頼感指数は2012年9月～2015年9月。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

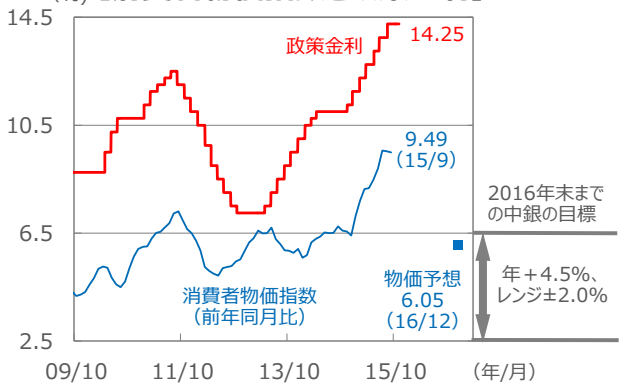
ポイント2 中銀は高金利維持の姿勢

レアル安で物価高懸念は根強い

■ブラジル中央銀行（以下、中銀）は、9月2日の前回会合で政策金利を14.25%に据え置きました。中銀は、現行の金融政策を長期にわたり維持することにより、物価を2016年末に目標（年＋4.5%）に落ち着かせる方針ですが、足元まで物価は高止まりしています。

■物価高の一因であるレアル安は、9月下旬以降反転上昇傾向にあります。しかし、財政不安、政情不安などのレアル安要因が当面払拭されないため、物価高や高水準の政策金利は長引く見込みです。

【消費者物価指数と政策金利】



（注）政策金利は2009年10月1日～2015年10月15日。
消費者物価指数は2009年10月～2015年9月。
物価予想は、中銀が10月12日に発表した市場予想。
（出所）Bloomberg L.P.、ブラジル中央銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 物価の落ち着きを通じた消費者心理の改善、景気持ち直しに期待

■中銀は9月下旬に、4月以降中止していた通貨スワップ取引の新規入札を再開するなど、レアル安定化に向けた取り組みを強化しています。また、ルセフ大統領は、内閣改造や来年度予算の見直しなどを発表し、財政再建への取り組みを強化しています。

■中銀は、政府の財政再建を重要視しており、取り組みが進まずレアル安圧力が強まる場合には利上げも辞さない姿勢です。当面は、金融引き締めにより物価が安定し、消費者心理の改善などを通じて景気が持ち直すことを待つ局面といえます。

ここもチェック!
2015年10月 8日 ブラジルレアルの現状と見通し
2015年 9月10日 「財政再建」は正念場（ブラジル）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。